

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	アセスメント、モニタリングから次の計画へ繋げるよう、誰もが見てわかるような具体的な介護計画を期待する。	出来ないことではなく、以前より出来ることを見つけ、本人や家族さんが希望や目標が持てるようにする。一人一人の個性や思いを尊重し、個々の介護計画を具体的な言葉で記入する。	計画内容は抽象的ではなく、具体的で職員が分かりやすい言葉で書き、その都度口頭でも指示・説明をする。以前より何ができるようになったかを記入する。	6ヶ月
2	4	より多くの家族が関心を持って参加できる働きかけが望まれる。各方面から幅広い意見がだされサービス向上に繋げていけることを期待する。	家族さん全員にあおばの里の運営に関心を持ってもらえるように、多くの家族さんに運営推進会議の参加を呼び掛ける。各方面の方に運営推進会議に参加してもらえるように取り組む。	家族さん全員にあおばの里の運営に関心を持ってもらえるように、運営推進会議の日時のお知らせや、欠席者には内容を詳しく知らせる。また、会議での様々な意見を、直ぐにサービスの向上に活かしていく。	6ヶ月
3	5	事業所に関心をもってもらえるよう工夫し、市町村に足を運び、担当者に報告、相談を行うこと等から関係を築き、サービスの向上に活かせることを期待する。	市町村との協力関係を築けるようにしていく。	あおばの里を知ってもらえるよう、市町村に出向き、あおばの里の現状や相談等をして、関係を築いていく。運営推進会議へも参加していただけるよう努力し、サービスの向上に活かしていく。	6ヶ月
4	33	希望があれば事業所での看取りも行えるよう、今後に期待したい。	利用者・家族さんの終末期のあり方を早い段階で話し合い、希望に沿えるようにしていく。病院と連携して、チームでターミナルケアに取り組めるよう努力する。	あおばの里で看取りが行えるよう、職員・医師・看護師・家族さんと連携の仕方・問題点を話し合いターミナルケアに取り組めるようにしていく。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。